

TOPICS

第26回目もオンラインで開催し、前回までに議論したPDCAサイクルについて、基本計画の検討を進めるために議論のテーマを選びました。

とことん1

到達目標 前回・前々回で議論したPDCAサイクルについて、ふりかえりをしましょう

前回のPDCAの仕組みについて議論した結果について、事務局で取りまとめた内容を共有し、全体で意見交換を行いました。

【意見】

- 総合計画は12年間のロングスパンであるが、どのタイミングで見直すのか？
⇒基本計画は4年ごとに見直し、事業は1年ごとに点検を行う予定。
- PDCAサイクルについて、見る視点や立場によって評価が変わる場合もあるため、市民が客観的に評価できる仕組みが必要だと思う。
- ふりかえりのシステムはいろいろな水準を含んでおり、実施する場合は様々な主体が関わってくるので、すべて同じシステムで進めるのは難しい。 など

とことん2

到達目標 今後（10月まで）の懇話会の進め方の展望について共有しましょう

今後（10月まで）の懇話会の進め方について、どのように進めていくのか、スケジュール案を事務局から提案し、全体で意見交換を行いました。

【意見】

- 先に計画策定後の懇話会のあり方を検討しないと、実行できないのではないかと。
- ⇒実際進める時に何が課題となるのかを実践で知り、それを踏まえて懇話会のあり方を検討したい。まずはすべてのグループで共通した課題であった「情報共有」について実践したい。 など

今後（10月まで）の懇話会の進め方の展望について

□これまでの議論を踏まえ、基本計画及び行動計画をより実効性のあるものとするため、多様な主体の意見も取り入れながら、議論を深めます。

【今後の懇話会の進め方の柱】

- ① 基本計画の検討（4～5月）
- ② 実際の行動に移してある（6～8月）
- ③ 計画策定後の懇話会のあり方検討（9・10月）



■ 開催概要

- 第26回：令和4年 3月13日（日）
場 所：オンライン+市立公民館・中央地区公民館（臨時オンライン会場）
参 加 者：市 民：現地オンライン 5名 オンライン 11名
若手職員：現地オンライン 4名
桃山学院大学 岩田 考先生
議 題：1. 前回・前々回で議論したPDCAの仕組みについての取りまとめ
2. 今後（10月まで）の懇話会の進め方の展望について
3. 基本計画検討の下準備について
4. 次回について

とことん3

到達目標 基本計画の検討を進めるために、議論のテーマ（個別目標の方向性）を選びましょう

基本計画の検討を進めるため、今後議論する「個別目標の方向性について6つのグループに分かれて選び、全体で意見を共有しました。」

グループ	選んだ個別目標の方向性（一部抜粋）
岸和田の次世代を育むまち①	・様々な学びの活動が知識、経験の活用を進めるとともに、コミュニティのつながりを創出する ・食育や体力づくりなど子どもの健康な身体づくりを進める
岸和田の次世代を育むまち②	・妊娠を望む家庭や子育て家庭の不安解消、経済的負担の軽減を進める ・子ども一人ひとりが輝けるための適切な支援を行う
健康で自分らしく生きられるまち	・個々の人権や多様な価値観の尊重意識を高めるとともに、多文化に触れる機会を創出し、他者理解を促進する ・常日頃から、地域の中でお互いに助けあえる地域共生社会の関係づくりを進める
安全で安心して暮らせるまち	・発災時にみんなが迅速に柔軟に対応できる環境づくりを進める ・交通マナーの向上や交通事故を防ぐ環境づくりを進める
人と自然が共生した住みよいまち	・まちの美化を進める ・ごみの減量と資源の有効活用など4Rを進める
賑わいと活力を創造するまち	・まちのイメージを向上させる環境づくりを進める ・拠点へのアクセス性の向上を図る

とことん3

懇話会後の参加市民・若手職員からの感想です



市民

- ・ 基本目標を絞って議論していくことにはなりますが、それ以外の内容について抜け落ちがないように、と思います。
- ・ 人によってPDCAサイクルの理解度に差があると思います。なぜPDCAを利用するのかなど、最終的な運営イメージを明示して意識を一致させてはどうでしょうか。
- ・ 今後個別目標の方向性を絞って議論を深めるということにより具体的な意見交換や方向性を進めていけることになるとと思います。



若手職員

など

■ 今後の予定

- 【第27回】 令和4年 4月 10日（日） ➡ 基本計画の検討（個別目標の方向性について）
【第28回】 令和4年 4月 24日（日）